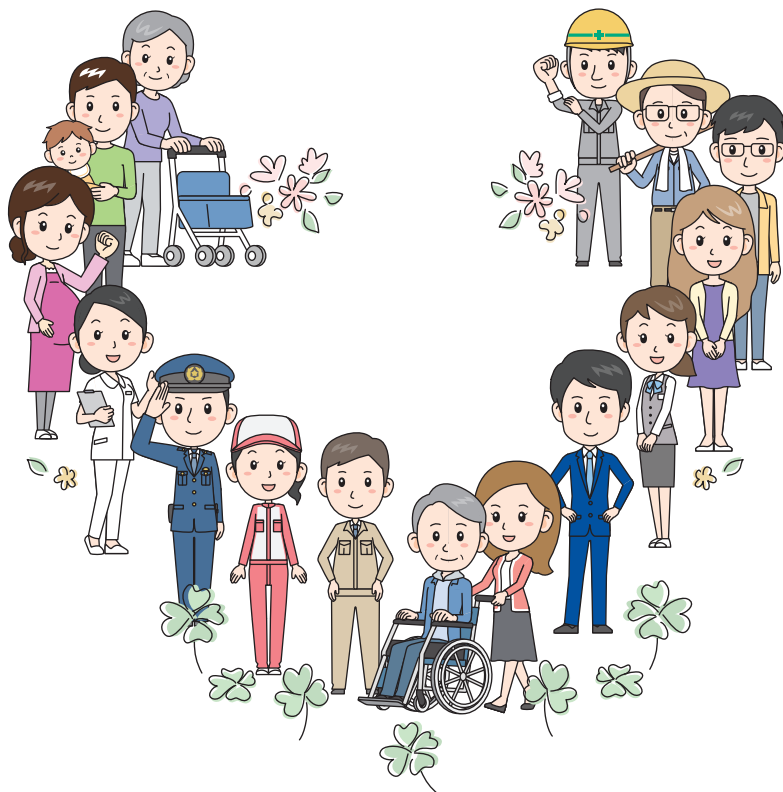


糖尿病のある人のための

もしかしたら
見逃していたかも
しれない

医療費助成制度



※それぞれの助成制度で対象者・受給要件などが異なります。

2026年4月時点の情報となるため、詳細は必ず各問い合わせ先にご確認をお願い致します。

糖尿病のある人が受けられる可能性のある医療費助成一覧

種類	高額療養費制度	組合健康保険・共済組合 付加給付	障害厚生年金
対象年齢	原則なし	加入時～74歳	原則20歳～64歳
対象者	公的医療保険加入者と被扶養者	組合健康保険・共済組合加入者で付加給付を有する健康保険加入者	厚生年金加入者
受給要件	医療費が年収区分の上限額を上回るもの	月の窓口負担額が、組合が定める上限額を超えるなど	・90日以上のインスリン治療 ・血清Cペプチド値、重症低血糖、DKA、高血糖高浸透圧症候群の何れかが一定程度 ・日常生活の制限が一定程度 など
助成内容	年収により上限が異なるが、5.76万円または8.01万円＋αが多く、超過分を給付	組合・共済により上限や対象年齢が異なるが、上限2.5万円/月とする組合・共済が多く、超過分を給付	年収・加入期間により変動するが、最低5.2万円～/月を給付
参考URL		各組合健康保険の名称 付加給付 検索	

大学生医療給付	こども・学生医療助成	NPO法人による医療費助成 (日本IDDMネットワーク)	妊産婦医療費助成
学生組合により異なる	自治体により異なるが～22歳など	【佐賀方式】 ・18歳～25歳* ・妊娠準備期間から産後1年(26歳～42歳) 【岡山方式】 ・～25歳* *小児慢性特定疾病医療費助成対象者は除く	原則なし
医療給付を有する学生健康保険互助組合などの加入者	対象の自治体に住む学生	インスリンポンプとCGMを使用した治療を行っている1型糖尿病のある方	全国約250の県または自治体に住む妊婦 (疾患が限定される県や自治体もあり)
指定医療機関に通院など制限がある場合があり	本人または保護者が対象の自治体に在住	NPO法人が定める要件をご参照ください (現在は財源により佐賀・岡山にて実施)	対象の県または自治体に在住
組合により月や年間の上限等が異なるが、窓口負担額の一部を給付	自治体により異なるが、全額給付もあり	年収により異なるが、4,000円～31,000円/月を給付	県・自治体により異なるが、自己負担0円～1日530円、または月1,500円までなど
各大学の名称 医療給付	各自治体の名称 大学生 医療給付		
検索	検索		

高額療養費制度

高額療養費制度とは

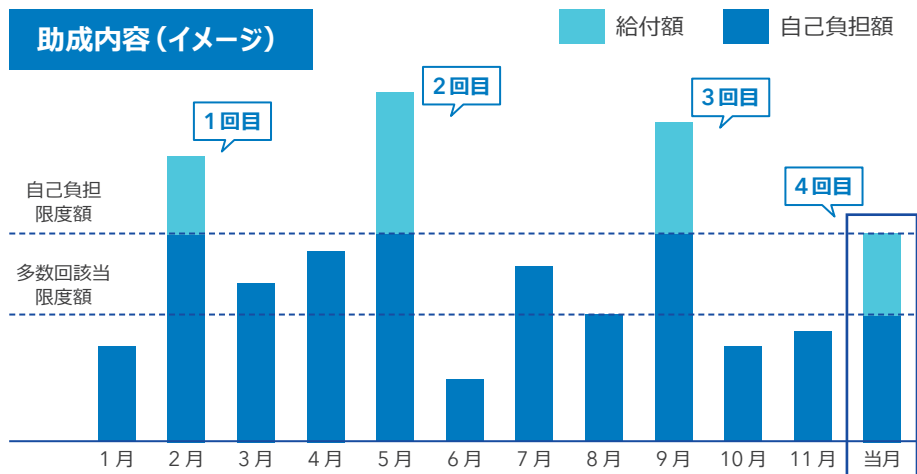
医療機関や薬局の窓口で支払った額が、ひと月で上限額を超えた場合に、その超えた金額を給付する制度

多数回該当とは

直近 12 カ月間に高額療養費が給付された月が 3 回以上になった場合は、4 回目から自己負担額が軽減された定額となる制度

対 象	公的医療保険加入者と被扶養者
助成内容	p.5 イメージの通り
申請方法	事前申請：マイナ保険証、または限度額適用認定証を利用 事後申請：支給申請書を提出
助成方法	事前申請：窓口での支払いが自動的に限度額までとなる 事後申請：後日振込
期 間	診療を受けた月の翌月の初日から2年

助成内容（イメージ）



上限額

適用区分 (69歳以下)	ひと月の上限額 (世帯ごと)	多数回該当
区分ア 年収約1,160万円～	$252,600円 + (\text{医療費} - 842,000円) \times 1\%$	140,100円
区分イ 年収約770～1,160万円	$167,400円 + (\text{医療費} - 558,000円) \times 1\%$	93,000円
区分ウ 年収約370～770万円	$80,100円 + (\text{医療費} - 267,000円) \times 1\%$	44,400円
区分エ ～年収約370万円	57,600円	44,400円
区分オ 住民税非課税者	35,400円	24,600円

適用区分 (70歳以上)	ひと月の上限額 外来 (個人ごと)	ひと月の上限額 (世帯ごと)	多数回該当
年収約1,160万円～	$252,600円 + (\text{医療費} - 842,000円) \times 1\%$		140,100円
年収約770～1,160万円	$167,400円 + (\text{医療費} - 558,000円) \times 1\%$		93,000円
年収約370～770万円	$80,100円 + (\text{医療費} - 267,000円) \times 1\%$		44,400円
年収約156～370万円	18,000円	57,600円	44,400円
Ⅱ 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円	なし
Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)		15,000円	

高額療養費制度

世帯合算とは

ひとり1回分の窓口負担では上限額を超えない場合でも、複数の受診や、同じ世帯にいる他の方（同じ医療保険に加入している方に限る）の受診について、窓口で支払った自己負担額を1カ月単位で合算できる制度

※ 69歳以下の方の受診については、21,000円以上の自己負担額のみ合算

〈69歳以下（区分Ⅰ）／AさんとBさんが同じ世帯にいる場合〉

被保険者A

a 病院（入院）

自己負担額：60,000円

被保険者B

b 病院（外来）

自己負担額：25,000円

c 病院

自己負担額：5,000円

世帯合算

世帯合算後の
自己負担額

Ⅱ

+ 60,000円

+ 25,000円

= 85,000円

※ c 病院で支払った
5,000円は21,000円
未満のため、合算対象外。

57,600円を超える
27,400円が高額療
養費制度の給付額と
なる

窓口での支払いを最初から抑える方法



・マイナ保険証を利用する

対応している医療機関・薬局の窓口でマイナ保険証を利用すると、事前の書類申請なしで窓口での支払いが自動的に限度額までとなります。

・限度額適用認定証を利用する

事前に「限度額適用認定証」などの認定証を取得し、医療機関などの窓口に提示することで、窓口での支払額を自己負担限度額までにとどめることができます。

ご自身の区分確認

- ・ マイナポータル：ホーム画面から「健康保険証」ページへ行き、ページ内の「限度額適用認定証 区分」を確認
- ・ 健保組合：限度額適用認定証を申請し、認定証の適用区分を確認

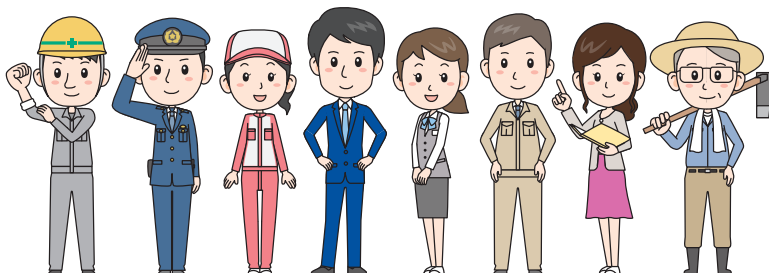


組合健康保険・共済組合付加給付

組合健康保険・共済組合付加給付とは

会社員や公務員が所属する健康保険組合や共済組合より、各組合が定める月額上限を超えた医療費を給付するという福利厚生

対 象	・ 組合健康保険 / 共済組合加入者で付加給付を有する健康保険加入者 ・ 加入時～74歳
助成内容	p.9 イメージの通り
申請方法	原則不要 など
助成方法	受診月以降の給与にて給付 など
期 間	付加給付を有する健康保険・共済組合に加入している間



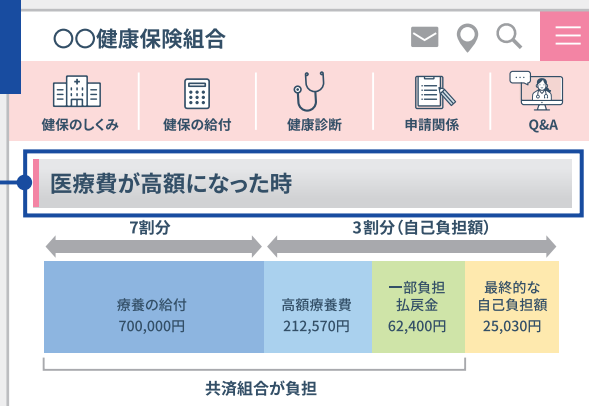
助成内容（イメージ）

組合・共済により上限額が異なるが、月額自己負担上限超過分を給付

健康保険組合名	月額自己負担上限
〇〇会社健康保険組合	20,000 円
〇〇業界健康保険組合	50,000 円
〇〇共済組合	25,000 円
〇〇団体健康保険組合	30,000 円

ホームページまたはマニュアルのイメージ

各組合の「医療費が高額になった時」等の欄にて詳細をご確認ください



障害厚生年金の概要

※代謝疾患（糖尿病）による障害等級3級の場合

障害厚生年金とは

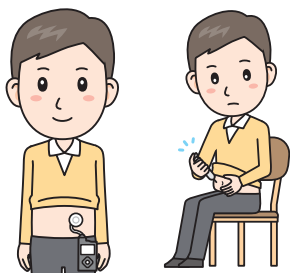
厚生年金加入中に発症した病気や怪我が原因で、所定の障害状態になった場合に給付される年金

対 象	・ 受給要件、及び認定条件を満たしている厚生年金加入者 ・ 原則 20 歳 ～ 64 歳
助成内容	p.13の通り
申請方法	近隣の年金事務所、または年金相談センター等へ必要書類を提出
助成方法	後日振込
期 間	・ 障害認定日の翌月～（障害認定日に法令に定める障害の状態にある場合） ・ 請求日の翌月～（障害認定日に法令に定める障害の状態に該当しないが、その後症状が悪化し、法令に定める障害の状態になった場合）

障害厚生年金の受給要件

次の1～3のすべての要件を満たしているときは障害厚生年金が給付されます。

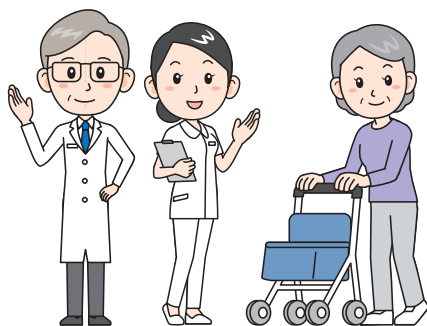
要件	
1	厚生年金保険の被保険者である間に、障害の原因となった病気やけがの初診日があること。
2	障害の状態が、障害認定日に、障害等級表に定める1～3級のいずれかに該当していること。ただし、障害認定日に障害の状態が軽くても、その後重くなったときは、障害厚生年金を受け取ることができる場合があります。
3	初診日の前日に、初診日がある月の前々月までの被保険者期間で、国民年金の保険料納付済期間（厚生年金保険の被保険者期間、共済組合の組合員期間を含む）と保険料免除期間をあわせた期間が3分の2以上あること。ただし、初診日が令和18年3月末日までのときは、初診日において65歳未満であれば、初診日の前日において、初診日がある月の前々月までの直近1年間に保険料の未納がなければよいことになっています。



糖尿病の障害等級3級の認定条件

- ① 検査日より前に、90日以上継続して必要なインスリン治療を行っていること
- ② 次のいずれかに該当すること
 - (1) 内因性のインスリン分泌が枯渇している状態で、空腹時または随時の血清Cペプチド値が0.3ng/mL未満を示すもの
 - (2) 意識障害により自己回復ができない重症低血糖の所見が平均して月1回以上あるもの
 - (3) インスリン治療中に糖尿病ケトアシドーシスまたは高血糖高浸透圧症候群による入院が年1回以上あるもの
- ③ 以下の一般状態区分表のイまたはウに該当すること

区分	一般状態
イ	軽度の症状があり、肉体労働は制限を受けるが、歩行、軽労働や座業はできるもの 例えば、軽い家事、事務など
ウ	歩行や身のまわりのことはできるが、時に少し介助が必要なこともあり、軽労働はできないが、日中の50%以上は起居しているもの



助成内容

年収・加入期間により変動するが、以下の最低補保証額を給付

障害厚生年金の年金額 (令和8年4月分から) 3級の最低保証額	年金額
昭和31年4月2日以後生まれの方	635,500円
昭和31年4月1日以前生まれの方	633,700円

請求(申請)に必要な書類



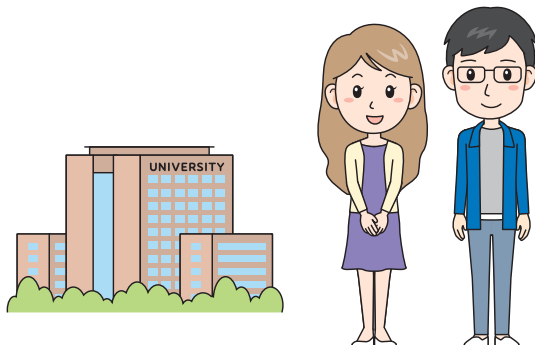
- ・ 年金請求書
- ・ 戸籍謄本、戸籍抄本、戸籍の記載事項証明書、住民票、住民票の記載事項証明書のいずれか
- ・ 医師の診断書
- ・ 受診状況等証明書
- ・ 病歴 / 就労状況等申立書
- ・ 受取先金融機関の通帳等(本人名義)
など

大学生医療給付

大学生医療給付とは

大学生・大学院生・研究生等が所属する学生組合などより、月額上限を超えた医療費を給付するという制度

対 象	医療給付を有する学生健康保険互助組合などの加入者 (指定の医療機関に通院など制限がある場合あり)
助成内容	p.15 イメージの通り
申請方法	大学内窓口、または郵送で必要書類を提出 など
助成方法	後日振込 など
期 間	受診日の3ヶ月目の10日まで など



助成内容（イメージ）

組合により月や年間の上限額等が異なるが、窓口負担額の一部を給付

大学名	自己負担上限	条件
〇〇大学	0 円	〇〇病院での診察分のみ、年間最大 10 万円まで
〇〇大学	1,500 円	病院に制限なし、1 月最大 8 万円、年間最大 50 万円まで
〇〇大学	0 円	病院に制限なし、1 月最大 4 万円、年間 48 万円まで
〇〇大学	自己負担の 6 割	病院に制限なし、1 月最大 8 万円、年間 10 万円まで
〇〇大学	0 円	病院に制限なし、年間最大 20 万円まで

請求（申請）に必要な書類



- ・ 医療費給付申請書
- ・ 領収書
- など

ホームページのイメージ

〇〇大学

在学の方

学生医療互助会

学生医療互助会について

各大学のホームページで「学生医療互助会」などの欄に詳細が記載されていることが多いです

学生医療互助会は、学生が病気やケガをした際の医療費負担を軽減するために、学生がお互いに助け合う制度です。在学中に全員が強制的に加入する仕組みになっており、健康保険適用内の医療費の自己負担分の一部を給付します。

こども・学生医療助成

こども・学生医療助成とは

疾病の早期治療からすこやかな成長を育むとともに、子育て世代の経済的支援を目的に、医療費を給付する制度

対 象	・ 本人または保護者が対象の自治体に在住 ・ 0～22歳 など
助成内容	自己負担 0～200円 など
申請方法	自治体の窓口で必要書類を提出 など
助成方法	窓口給付、後日振込 など
期 間	支払い日から6カ月 など

請求(申請)に必要な書類



- ・ 大学生等医療費助成金交付申請書
- ・ 学生証、または在学証明書
- ・ 領収書
- など

NPO法人による医療費助成 (日本IDDMネットワーク)

NPO法人による医療費助成（日本IDDMネットワーク）とは

成人患者が今の日本で受けられる最良の治療を受けられるようにするため、対象の自治体に在住の患者へ医療費を助成する制度

対 象	インスリンポンプとCGMを使用した治療を行っている
助成内容	年収により異なるが、4,000円～31,000円を給付
申請方法	日本IDDMネットワークホームページ上の助成資格認定申請フォームに必要事項を記入
助成方法	後日振込
期 間	【佐賀方式】 ・ 18歳～25歳* ・ 妊娠準備期間から産後1年（26歳～42歳） 【岡山方式】 ・ ～25歳* * 小児慢性特定疾病医療費助成対象者は除く

日本IDDMネットワークホームページ



妊産婦医療費助成の概要

妊産婦医療費助成とは

安心して子どもを産み育てることができる環境をつくるため、対象の自治体に在住の妊産婦へ医療費を助成する制度

対 象	対象の自治体に在住の妊産婦 (糖尿病、妊娠高血圧、貧血など限定的な場合もあり)
助成内容	0円～1回530円、または月上限1,500円 など
申請方法	自治体の窓口で受給資格を登録後、必要書類を提出 など
助成方法	窓口給付、後日振込 など
期 間	母子手帳交付日～出産月の翌月末 など

請求(申請)に必要な書類



- ・妊産婦医療費助成申請書
- ・領収書
- など



最新データ

2025年11月時点

23道県 248市町村



全市町村で助成を実施（100%）している都道府県は、

青森県、岩手県、栃木県、茨城県、新潟県、富山県の6県

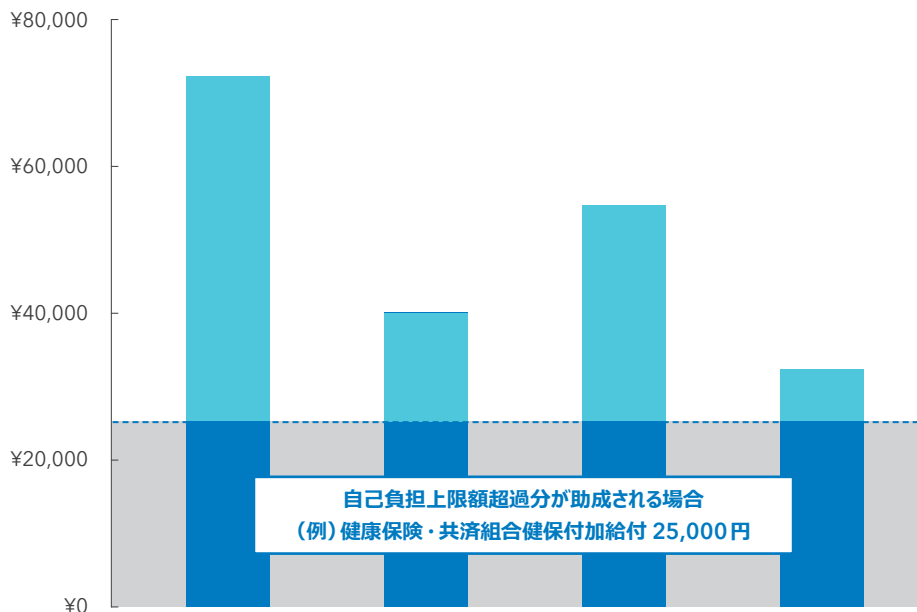


治療法別の自己負担イメージ

自己負担イメージ

給付額 自己負担額

※ 3割負担、3カ月毎受診の場合（令和8年6月～の診療報酬に基づく）

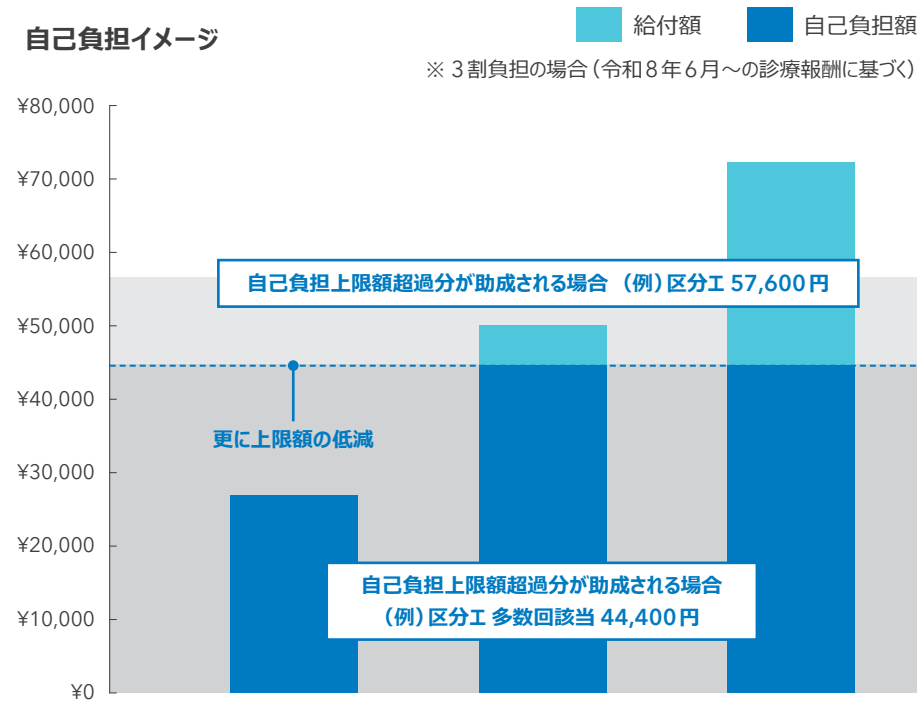


	AID	CSII +SMBG	MDI +rtCGM	MDI +isCGM
合計*	¥72,276	¥39,582	¥54,954	¥32,319
自己負担 上限額	¥25,000	¥25,000	¥25,000	¥25,000
給付額	¥47,276	¥14,582	¥29,954	¥7,319
自己負担額 (ひと月相当)	¥25,000 (¥8,333)	¥25,000 (¥8,333)	¥25,000 (¥8,333)	¥25,000 (¥8,333)

*初・再診/管理/技術料、機器、薬等を含む

AID療法の自己負担イメージ

(69歳以下、高額療養費制度多数回該当の場合)



受診頻度	1 か月ごと	2 か月ごと	3 か月ごと
合計*	¥27,318	¥49,797	¥72,276
自己負担上限額	¥44,400	¥44,400	¥44,400
給付額	¥0	¥5,397	¥27,876
自己負担額 (ひと月相当)	¥27,318 (¥27,318)	¥44,400 (¥22,200)	¥44,400 (¥14,800)

*初・再診/管理/技術料、機器、薬等を含む

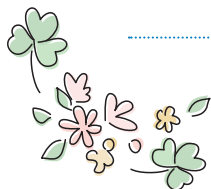
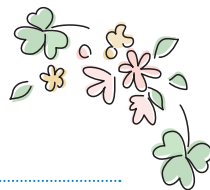
参考リンク集

- ・ 厚生労働省「高額療養費制度を利用される皆さまへ」
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryouhoken/juuyou/kougakuiryoku/index.html)
- ・ 日本年金機構「障害厚生年金の受給要件・請求時期・年金額」
(<https://www.nenkin.go.jp/service/jukyu/seido/shougainenkin/jukyu-yoken/20150401-02.html>)
- ・ 日本年金機構「障害厚生年金を請求するとき」
(<https://www.nenkin.go.jp/shinsei/jukyu/shougai/shougaihouettei.html>)
- ・ 障害年金日本年金機構「障害年金の請求手続き等に使用する診断書・関連書類」
(<https://www.nenkin.go.jp/shinsei/jukyu/shougai/shindansho/index.html>)
- ・ 日本年金機構「国民年金・厚生年金保険 障害認定基準」
(<https://www.nenkin.go.jp/service/jukyu/seido/shougainenkin/ninteikijun/20140604.html>)
- ・ 日本 IDDM ネットワーク「医療費の支援」
(https://japan-iddm.net/life-info/healthexpenditure_v2/)
- ・ 全国保険医団体連合会「妊産婦医療費助成制度実施自治体一覧」
(https://hodaanren.doc-net.or.jp/wp-content/uploads/2019/09/251101_mms_list.pdf)
- ・ 厚生労働省「医療保険」
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryouhoken/newpage_21053.html)

※それぞれの助成制度で対象者・受給要件などが異なります。

2026年4月時点の情報となるため、詳細は必ず各問い合わせ先にご確認をお願い致します。

MEMO





糖尿病サポートライン：

コール ミニ コール
0120-56-32-56 (24時間365日)

・インスリンポンプやAID療法に関するご質問はこちらまで

※各制度の詳細については、各問い合わせ先にご確認をお願い致します。
当窓口ではお答えすることができません。

「一人ひとりの生活に合わせた治療」を実現するための情報サイトです。



インスリンポンプ.jp

よりよい日々がここから始まる

Webサイト「インスリンポンプ.jp」では、
自覚のない高血糖・低血糖を予防・管理するための情報を
紹介しています。

「生活のサポート」ではカーボカウントを楽しく学べる情報や
各種資料を紹介、また「よみもの」には気軽に読んだり見
たりできるページがあります。

血糖管理・治療

インスリンポンプ療法をわかりやすく
説明しています。糖尿病のライオン・
レニーと一緒に学べます。



生活のサポート

生活に関する情報や資料がありま
す。ダウンロードもできます。



よみもの

患者さんのインタビュー、ウェブ漫画
の感想集を見ることができます。



アクセスはこちら

スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。

www.insulin-pump.jp

インスリンポンプ.jp

検索



ミニメドジャパン合同会社

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70